

重要技術戦略研究所（仮称）（安全・安心に関するシンクタンク）

- 第6期科学技術・イノベーション基本計画等において設立が位置付け
- 国内外の技術動向、社会経済動向、安全保障等の視点から重要技術に関する調査分析を実施

期待される機能及び取組の現状

「重要技術戦略研究所」（仮称）（安全・安心に関するシンクタンク）は

- 経済安全保障推進法に定める特定重要技術調査研究機関の主要な候補
- 経済安全保障重要技術育成プログラム(K Program)の対象技術選定やAI・量子をはじめ重要技術に関する政策提言
- 産学官連携による経済安全保障の観点からの科学技術戦略を推進
- これまで委託事業を通じて設立準備を進めてきたところ、令和8年度の設立を目指し、本年6月に研究所の公募を開始

重要技術戦略研究所（仮称）のイメージ

➤ 3機能を一体的に実現



調査分析・政策提言



人材育成



ネットワーク構築

➤ 組織管理



組織

受託機関とは物理的・技術的に切り離された「オフ・キャンパス」構造により自主性・セキュリティを確保



運営経費

当面の主な財源は国費を前提としつつ、継続的かつ安定した財源確保に向けて検討



政府との連携

政府・受託者・研究所で構成する「重要技術戦略ステアリングボード」にて研究所の重要方針を議論

スケジュール

- 公募開始（6/30） → 公募説明会（7/15） → 企画提案書提出期限（8/18） → プレゼンテーション（8/27）
→ 採択機関決定（12/5） → 契約手続 → 事業開始（1月中予定） → 令和8年度中に研究所を設立